

2025

4

VOL.32

## みらい通信

発行元:社会福祉法人みらい工房 広報委員会

発行責任者:平井晋也

住所:千葉県千葉市中央区生実町1821-1

電話:043-488-4649

本年も二十歳を祝う会・新年会にて  
幕を開けたみらい工房

先日、TKPガーデンシティ千葉にて開催されました「二十歳を祝う会・新年会」において、二十歳を迎えた皆様のその立派な姿に感慨深くなると同時に、みらい工房創立から早くも十四年が経過したのだ、と時の流れの速さを改めて痛感致しました。今年は職員余興にて「みらいバンド」の演奏があり、演奏者自身も心から楽しみ奏てる迫力ある音楽が、利用者の皆様の心にも響き笑顔を生むと、会場全体が感動と喜びに包まれました。

みらいバンドは有志職員が多く忙の中、時間を作つて集まり、中には疲れた体で（そうでない方もいるかと思いますが）一生懸命練習をしていました。「みんなに楽しんでもらいたい、喜んでもらいたい」というシンプルではあります、とても大切なこの気持ちが、バンド練習での職員たちを根底から支えていたのではないかと感じました。

私も自身、現在は総務部に所属しており、以前に比べ残念ながら利用者様と接する機会も少なくなりました。みらいバンドの演奏を聞き、二〇一一年のみらい工房のオープンから今日に至るまでの利用者様と法人の歩みに想いを馳せると共に、支援員である、事務職であるという枠組み以前に一人の人間として大切な事について、改めて考える良い機会となりました。

令和六年度のみらい工房は、本誌にも掲載されております「みらい工房カフェ Lamp」や「サードスペースみらい」等、より「地域との繋り」や「誰もが参加できる福祉」を意識した事業展開を実現することができました。法人を支えて下さる、利用者様、ご家族様・地域の皆様の期待により一層お応えすべく、法人理念に沿った事業運営を行つてまいります。特に次年度は、法人内の部門にどうわれば、横の繋がりを意識し、多様な職員の团结力を高めてまいります。チーム一丸となり一つ一つ地道に物事に取り組み、皆様と共に成長していく所存です。今後ともよろしくお願い致します。

部長・事務長 久保田智大

みらい工房

部長・エリア長 渡邊慎太郎

久保田智大

旅行や季節のイベントは  
利用者・職員が共に楽しみます

令和六年度を振り返りますと、コロナ禍が明け二年が過ぎ、世の中も新しい生活様式に慣れ、以前の穏やかさを取り戻してきているように感じられます。

みらい工房では四月に沖縄県浦添市にて生活介護事業所・地域生活支援センター「おおきなWa」を開所し、ご利用者様も徐々に増え、活気を見せてています。沖縄県へご旅行等の機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。施設長の吳屋翔太郎が心を込めてご案内させて頂きます。

千葉県千葉市では十月に緑区障害者基幹相談支援センターにて「サードスペースみらい」を開所。ある時は、精神障がいがある方の居場所であり、時には親子の居場所であり、地域の皆様の多様なニーズに応じて、違った顔を見せる「コミュニケーションスペース」の提供を目的として運営を開始致しました。人には言えないお悩みや、生活への不安・困りごと等、お気軽にご相談いただける場所となつております。

十二月には千葉県庁のすぐ近くに、カフェLampをオープンしました。店主が丁寧に焙煎する美味しいコーヒーに、茹で方にこだわったもちもち麺のナポリタン、はーとやのパンで製造したボリューミーなサンドウイッチ等、お手頃な価格帯で提供しております。店内も照明や家具に店主の想いが詰まりお洒落で落ち着く空間となつております。お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



## 20歳を祝う会・新年会

社会福祉法人みらい工房では計6名の方の新たな門出“二十歳”をお祝いしました。



そのうち、1名はおおきなWaの利用者様です。式典は事業所にてアットホームな雰囲気のもと行いました。



## SPECIAL REPORT

千葉市ゆうあいピック  
マラソン・駅伝大会のご報告

来る2月7日(金)に青葉の森スポーツプラザ陸上競技場にて開催された本大会へ、みらい工房からは12名の利用者様が参加されました。当日は天候に恵まれ、清々しい冬晴れの下、競技がスタート! 1kmを走るマラソン大会に、12名全員が参加され、全力で取り組みました。午後はタスキをつなぐ駅伝競技には5名が参加され、思い思いの走りで見事にみらい工房のタスキを繋がれました。本大会では本番だけではなく練習を通して、普段触れ合うことのない、職員や利用者様同士での交流を深める事が出来たこと。何よりも参加者一同、怪我なく無事に競技を終えられたことに安堵しています。来年はより多くの利用者様が参加できればと思います。今回活躍された全参加者様へ拍手をお送り下さいませ！！

スポーツ委員会

茨城  
Ibaraki



Moments That  
Moved Me

心が動いたあの瞬間



みらい工房  
だいちtrip.



みらい工房trip.





みらい工房  
おおぞらTrip.

△おおぞら一泊旅行は山梨県へ。晴天の河口湖から皆で望む絶景のMount Fujiは一生の想い出になりました。遊覧船『あっぱれ』に乗船して、山梨名物ほうとうもお腹いっぱい愉しました！

マルスワイナリーではフレッシュぶどうジュースをいただき、里の駅いちのみやでは県産ブランド米すくいに挑戦しました。美味しい想い出がいっぱいの充実した旅行となりました。



# Mirai Gallery-2024

写真で振り返る  
みらい工房の2024年度

△神奈川県は箱根と八景島を巡った、つむぎのメンバーです。小田原鈴廣のかまぼこの里では、金目鯛のあぶり御膳に舌鼓を打ち朝食はホテルバイキングを楽しみました！理事長も参加の大宴会では、ロシアンショーキャリーモードで大盛り上がり！利用者様・職員共に日常を忘れて楽しめました。八景島シーパラダイスでは幻想的な空間を思う存分、堪能しました。



みらい工房  
つむぎTrip.



## 編集後記

令和6年度もみらい工房では各エリア・事業所ごとに様々な催しが企画され皆様の笑顔が溢れる一年となりました。旅先では旅館や飲食店、公共施設を利用する際に、周囲の方のご配慮、お心遣いを頂く場面があったのではないかと思います。職員はご本人様が楽しむだけではなく、ご家族様の安心の為にも周囲の方にご迷惑にならぬよう見守り体制を整えておりますが、障がいがある方へのバリアフリーだけでは足りない場面もございます。そんな時は、自然に差し出してくださる誰かの手や温かく見守って下さる目がとてもありがたいものです。そんな社会をユニバーサルデザインと表現するそうです。真のユニバーサルな社会が実現するならば、それは私たちのような支援者を必要としない未来かも知れませんね。

広報委員会

# Cafe Lamp

心灯す、ひとときを。



## Cafe & Community Space "Lamp" をオープン致しました!

令和6年9月に物件が決まり、内装工事を終え、わたしなりのイメージでカウンターや店内装飾を作り、はーとやのパン直営店として、12月2日にオープンすることができました。初日のオープン直後、「ごはん食べられるの?」と飛び込んできたおじさん。その後も、数回、職場の方を連れて遊びに来てくれています。近所の絵本屋さんのおばあちゃんは、わたしの孫(10か月)が営業して(娘と手伝いに来て、ぐずって居ての散歩)のおつきあい。年末最後の日にも、「ここでご飯済ますわ」とお友達と1時間半、おしゃべりをしながら過ごしてくれました。同じ通りの方は、「さんまさんのご長寿の番組の収録してきました」と、びしっと決めてのご来店。ほかにも昼休みをここでゆっくり過ごされているOLの方々など、近隣のみなさんと、ゆっくりした時間を過ごしております。

こういった場所が、みなさんの活力、息抜き、コミュニティーの場となればと思ってスタートしました。少しずつですが、「つながり(Community)」が広がってきているように感じます。

「Lamp」という名は、「ともしび」=「人が集まる場、頼りにする場」という願いで決めました。ここが、みなさんの憩いの場となれるよう、いろいろ工夫をしていきますね。

なお、メニューは自家焙煎の珈琲を中心に、パスタ、ピラフ、ショコラティーヌ、バスクチーズケーキなどを用意しております。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

みらい工房 はーとやのパン 西山克也  
Cafe & Community Space Lampお問い合わせTEL:043-307-4144



## Free Space × Third Placeで創るMirai空間へ

緑区障害者基幹相談支援センターでは、千葉市緑区内にお住まいの方々や地域の関係諸機関より、様々な相談をお受けしています。地域で生活する障害がある方のなかには、社会との関わりを持つ機会が少なく、自宅に閉じこもりがちな方もいます。また、障害特性があるが故に社会参加の機会が限られている方がいます。そして、障害を問わず誰もが安心して過ごせる居場所や社会参加を促す支援を求める声が多く寄せられます。そういう声をもとに「地域と共にみんなのみらいを創造する」という社会福祉法人みらい工房の基本理念の具現化として、地域住民(緑区民)と一緒に、障害の有無の垣根を超えて、人とのつながりや地域交流、居場所として「サードスペースみらい」を開設しました。

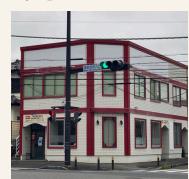
この「サードスペース」ですが、次の①+②を組み合わせた造語で、未来(みらい)に向かっての過程(通過点)を意味します。

①人とのつながりや地域交流の自由な空間(フリースペース)

②誰もが安心して過ごせる第三の居場所(サードプレイス)

「サードスペースみらい」は、JR鎌取駅、おゆみ野四季の道や緑区役所、鎌取コミュニティセンターからも近く利便性の良い場所にあります。また、障害者基幹相談支援センターを併設し、地域における相談支援や福祉サービスにつなぐ役割も必要に応じて行います。

【生活相談/生活支援】 【居場所】 【活動/地域交流】として、「サードスペースみらい」をご活用ください。



ひとりでも、  
みんなでも。

Third  
Space  
Mirai

緑区障害者基幹相談支援センター 管理者 由良亮人  
サードスペースみらいお問い合わせTEL:043-312-4891